

各 位

会 社 名 株式会社テリロジー
 代 表 者 名 代表取締役社長 津吹 憲男
 (コード：3356、JASDAQ)
 問 合 せ 先 取締役副社長 阿部 昭彦
 (TEL. 03-3237-3291)

業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 26 年 7 月 31 日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、本業績予想の修正を受けて、役員報酬の減額を決定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値の修正について

(1) 平成27年3月期通期業績予想値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	2,800	50	30	30	1.95
今回修正 (B)	2,804	△214	△207	△211	△13.76
増減額 (B - A)	4	△264	△237	△241	
増 減 率 (%)	0.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	2,560	△121	△153	△147	△9.58

2. 修正の理由について

平成 27 年 3 月期通期の業績予想につきましては、エンタープライズ部門における注力案件の受注活動が堅調に推移したことなどから、売上高は予定通り推移する見込みです。

損益面では、第 3 四半期までは、売上高の減少による利益の減少などが見られたものの、受注は堅調に推移したことから、売上計上予定は第 4 四半期に集中しています。

しかしながら、為替相場は、当初の想定を上回る円安・ドル高で推移していることから、引き続き、仕入れ価格は上昇しています。これにより、第 4 四半期に売上計上予定の受注残案件は、受注時に想定した利益を大きく下回ることが予想され、第 3 四半期までの利益の減少を取り戻すまでには至らないことが見込まれます。

また、継続的な経費の削減活動に努めたものの、新規製品の立ち上げによる先行投資などの一時費用が発生したことから、営業利益、経常利益、当期純利益は、前回予想を下回る見込みとなりました。

3. 役員報酬の減額について

当社は、平成 27 年 3 月期業績予想の下方修正を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり取締役の役員報酬の減額を実施することといたします。

(1) 取締役報酬の減額内容

代表取締役社長	月額報酬の 40%を減額
取締役副社長	月額報酬の 20%を減額
取締役	月額報酬の 10%を減額

(2) 対象期間

平成 27 年 4 月から平成 27 年 9 月まで

(注) 上記予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上